

わんりいが活動を始めた1992年は、大川さんが精力的に世界各地に旅行した年でもありました。

「わんりい」ご活動20周年、おめでとうございます。20年もの間、活発に活動しておられる市民サークルは珍しいと思います。会員の方々の息の長い情熱とご努力に、深く敬意を表させていただきます。

私の四姑娘山との付き合いも同じ位長くて昨年7月に満20年を迎えましたが、日隆で建てている家の建築トラブルに気を取られて、残念ながら感慨に浸る余裕がございませんでした。一つ言える事は、日隆の長坪村の人達の生活水準がこの20年間に数10倍向上して日本に引けを取らなくなった事、或いは豊かな自然を考えると日本を超える水準になったと言える事です。幾つかの要因が重なって当地の急激な発展は予想以上でした。生活水準は急激に向上しましたが、2000年代に「わんりい」の方々が四姑娘山を何度も訪れて友好を育まれた事、それに5年前の四川大地震の時に「わんりい」がお贈り下さった電気毛布は、今でも事あるごとに村人から懐かしがられ感謝されています。状況は随分変わりましたが、これ迄同様にお付き合い頂きたいと皆願っております。

事の序に私が20数年前に初めて四姑娘山を撮影に訪れて、その目的を達した写真をご紹介します。私の写真集「蜀山女神」にも掲載されている青いケシ "*Meconopsis horridula*" の写真です。この青いケシは大姑娘山の麓4500mに有る大岩の上に生えていましたが、2年後には残念ながら盗掘されて姿を消しました。私が2000年6月から四姑娘山に住み着いて微力ながら自然保護活動を始めた動機の一つにもなっています。

「わんりい」がご活動を始められた1992年、私は未だ東京のコンピュータ会社に勤めながら休暇を目一杯使って世界各地へ撮影に出掛けていました。5月にはエベレストで山岳飛行、8月はボルネオのオランウータン保護区、12月は黄山へ出掛けています。この時の未熟な出来栄の写真もご笑覧下さい。話が脇道に外れて来ましたので、この辺で筆を置かせて頂きます。状況の変化が予想以上に進んで困難が降り掛かるかも知れませんが、改めて「わんりい」の益々のご活躍をギャロンの地(女王谷)から願っております。



青いケシ "*Meconopsis horridula*"



1992年5月はエベレストで山岳飛行



8月はボルネオのオランウータン保護区へ



12月は黄山

大川さんと 'わんりい' の関わりは 2003 年 12 月から 1 月にかけて 'わんりい' 会員が丹巴訪問したのがきっかけでした。2005 年 7 月には 'わんりい' 会員が四川省四姑娘山へ行き大川さんの手厚い案内で景勝地を巡りました。

大川さんのホームページはこちら

■四姑娘山 <http://rgyalmorong.info/scholaweb/conts.htm>
 ■女 王 谷 <http://rgyalmorong.info>